

保険金詐欺事件検挙で函館中央警察署に感謝状を贈呈

～レッカー業者の故障偽装による保険金詐欺事件を検挙～

北海道損害保険防犯対策協議会(会長:片田 真理・損害保険ジャパン株式会社 執行役員 北海道エリア担当)では、保険金詐欺事案検挙の功績を称え、北海道函館方面函館中央警察署に感謝状を贈呈しました。

本件は、レッカー業者が保険契約者と共謀し、実際は故障していない車両を故障したと偽ってレッカー代を不正請求した保険金詐欺事件について、捜査に携わり検挙した函館中央警察署に対し、損害保険事業の健全な運営に多大な貢献があったとして感謝の意を表したものです。

6月21日(水)に函館中央警察署で贈呈式を行い、北海道支部の長崎事務局長から、函館中央警察署の芳賀交通第二課長に感謝状を贈呈しました。長崎事務局長からは、「当該事案はマスコミにも取り上げられており、保険金詐欺の抑止にも効果があったものとする。感謝状贈呈を1つの機会として、改めて警察当局との連携の重要性を確認し、保険事故に関わる不正請求の防止・排除に対する取組みを強化していきたい」と謝辞を述べました。

当支部では、今後も警察等と連携しながら、保険金の不正請求防止・排除に向けて取り組んでまいります。

※北海道損害保険防犯対策協議会について

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力団対策および不正請求対策として、関連諸機関と連携を図り健全な損害保険事業の運営を行うため、全国にこのような協議会を設けています。当協議会は1980年11月に設置され、日本損害保険協会北海道支部が事務局として運営しています。

<感謝状贈呈式の様子>



以上